

(別紙3)

教文起第821号-1

平成29年8月10日

(施設名) 米子市立山陰歴史館

(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団

(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司

平成28年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市教育委員会事務局文化課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日～平成33年3月31日(6年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。

特に、利用促進に関する業務では、前年度から引き続き、美術館と連携した企画展割引券の発行や大山が日本遺産に認定されたことで市民が興味を持ちやすいテーマで企画展を実施し当初の計画よりも会期を延長するなどの工夫が見られ、施設利用者数も前年度を上回っていることは高く評価できる。

今後も更なる取り組みを行うことで、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

・建物 that 有形文化財であり、米子市のシンボルのひとつに位置付けられる。日常の保守点検や清掃業務が適切に行われていることは大変評価できる。

・妥当である。

・管理体制の明確さのもと、適切な対応がなされているように見受けられる。

・利用者の声に耳を傾け取組む姿が垣間見える。

・展示物に悪影響のない範囲で室内の照明を工夫してほしい。例えばスポットライトの活用で解説部分を明るくするなどしてほしい。

・空調設備があると良いと思う。

・施設の老朽化は否めないが、周辺も含めて清潔な環境が保全されている。児童の見学の際も子どもたちは「古いが歴史ある建物」と認識している。

・建物自体が有形文化財であることの理解に基づき、それを観覧者へ十分伝えられているか不明な点があ

る。

・適切である。

② 管理について

・概ね良好である。

・妥当である。

・目視など日常の中で異常な状態に素早く対応し、修理など低コストで第三者への業務も委託されていることは好ましい。

・清潔にしてあって良いと思った。

・職員管理という点で積極的に職員研修の機会を確保しているところがすばらしい。当然予算面でも来年度以降拡充してほしい。

・基準は満たされている。

・適切である。

③ 事業について

・自主事業を多く実施し、ニーズに応えようと努めている点について評価できる。そのような中で企画展「西田税」のような独自性の強い事業に取り組まれていることも評価する。継続に期待する。

・妥当である。

・タイムリーな企画展（大山）などの他、市民サイドのニーズも会期の延長等の対応にも配慮するなど動向をキャッチし対処するなど評価できる。（必然的に入館者増を生む。）

・少ないスタッフながらよく考えられた企画をしておられる。

・2階にも展示があることを受付でわかりやすく表示したり説明されると良いと思う。

・米子城関連は市民に対しても歴史を学ぶ上で興味あるものなので今後も続けてほしい。

・明治～昭和の市民生活の様子を紹介する企画もほしい。28年度の企画展は戦争との関わりが強く戦後の米子市民の活気が伝わる明るい企画が良いと思う。

・企画展「大山の歴史を語る資料たち」の会期延長について、何を基準として決定したのか不明確。おそらくは会期中の入場者数が当初の見込みより多かったことが延期の判断につながったと思われるが、会期を延ばしたことでデメリットは生じなかったか。（例えば、展示品の借用契約における期間延長の手続き・延滞費、管理費等）

・適切である。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

今後も適切な施設管理に努め、関係機関や他施設と連携協力のもと引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら企画展、ソフト事業等の内容を検討することで、入館者数がさらに増加することに期待したい。

【第三者評価】

・各催事で60代以上が60%以上、米子市在住者が60%前後、情報取得方法の20%以上がポスターとチラシでネットは10%を切る。このあたりをもとに今後の周知、集客を広げる方向につないでほしい。

- ・集客につながる努力は怠らないでほしい。
- ・参考資料のアンケートにもあるように空調設備が必要だと思うので、予算立てをお願いしたい。
- ・大山開山1300年との関わりが歴史館でも紹介されることを期待している。
- ・参考資料の利用者アンケートでは「歴史館そのものの由来を」知りたい来館者がいる。併せて、夏場の空調の悪さを指摘する方もいる。建物の価値を伝え、保存への姿勢を理解してもらうことで、そういった不満が抑えられるのではないかと考える。
- ・企画展「大山の歴史を語る資料たち」の会期が延長されたことの要因として、入場者が多数であったことがあげられようが、その理由分析・検証が十分行われるべき。安定した入場者数の確保のためにも、また、他の企画展で活用できる点があると考えられる。
- ・利用者アンケートで「地元の観光施設や場所の地図等」を求める声がある。来館者にインパクトのある案内掲示が必要かと思う。
- ・①「米子城コーナー」を設置する。②「史跡米子城保存活用計画書」に沿って展示をする。③イベントにかつての「時代行列」の要素を加える。
- ・①「米子市史研究員」制度を創設する。②客員研究員を委嘱し、次の「米子市史」の構想を練る。③資料の蒐集・整理と、歴史叙述の方法を研究する。「中世・近世・近代・現代」のブックレットを発行する。

(別紙2)

平成28年度下期「米子市立山陰歴史館」モニタリング評価表〔平成29年6月〕

施設名	米子市立山陰歴史館	
施設所管課	教育委員会文化課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～平成33年3月31日	
選定方法	公募 非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土の歴史、民俗及び考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設であり、常設展示のほか様々な企画展を実施。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員配置がなされ、緊急時の連絡体制・マニュアル等が整備されている。 [資料等確認]
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	財団内で様々な研修を実施しているほか、外部での研修に受講するなど、職員の資質・能力の向上を図ろうとする姿勢がうかがわれる。 [資料等確認]
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	チラシの配布やポスターの掲示をはじめ、広報よなご、ホームページへの情報掲載、報道機関への情報提供などにより、利用者拡大のために努めている。 [資料等確認、立入調査]
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	利用者数は前年度より上回っている。 [資料等確認]

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	<p>日常業務の窓口で受けた利用者からの要望を迅速に担当者へ報告するとともに、企画展や講演会でのアンケート実施による利用者の要望の把握を行い、その実現に向けて努力している。</p> <p>[資料等確認・立入調査]</p>
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書の基準に基づいて、電気・水道・消防設備等の点検を適切に行っている。</p> <p>第三者に行わせる業務は必要最小限である。</p> <p>[資料等確認]</p>
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書の基準に基づいて、施設内の清掃や植栽の管理等を適切に実施している。</p> <p>第三者に行わせる業務は必要最小限である。</p> <p>[資料等確認、立入調査]</p>
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書の基準に基づいて、保安・警備業務が適切に実施されている。</p> <p>第三者の行わせる業務は必要最小限である。</p> <p>[資料等確認]</p>
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書の基準に基づいて、女子トイレ扉修繕や窓ガラス修繕が実施されている。</p> <p>第三者に行わせる業務は必要最小限である。</p> <p>[資料等確認]</p>
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	<p>事業計画書の内容に沿った自主事業が実施されている。歴史館単独事業のほか、企画展「太平洋戦争と戦中・戦後の暮らし」を開催。</p>

			<p>昨年同様に他の公的施設などと連携を図り相互割引及びギャラリートークツアーが行われている。また、企画展「大山の歴史を語る資料たち」では、好評につき当初の計画よりも会期を延長し実施している。</p> <p>[資料等確認、立入調査]</p>
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	<p>歴史館内の資・史料については、歴史館条例に沿った書式で対応した。</p> <p>[資料等確認]</p>
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	<p>施設のあり方を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。</p> <p>[資料等確認]</p>
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	<p>利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか</p> <p>利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか</p>	B	<p>アンケートなどで要望や意見の把握を日々おこなっており、事業実施計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案されている。</p> <p>[資料等確認]</p>
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	<p>協定書に基づいて、職員が日常的な清掃・点検等の業務を行い、細かくチェックすることで良好な状態が保たれている。</p> <p>[資料等確認、立入調査]</p>
3 運営業務	<p>事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか</p> <p>利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか</p>	A	<p>美術館と連携し企画展観覧料を割引料金にしたり、好評な企画展では会期を延長して開催し、利用者の拡大を図るなどサービス水準の向上に寄与するものであったと評価できる。</p> <p>[資料等確認]</p>

4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	市民に親しみながら歴史的価値を知ってもらえるような内容であった。企画展「大山の歴史を語る資料たち」では、大山が日本遺産に認定されたことを記念して開催され、大山の歴史を知ってもらう機会を提供していた。「絵図でたどる米子城の歴史」では絵図資料を中心に発掘調査資料などを合わせて展示し、また関連事業として初代城主の中村氏の歴史が記された「中村記」を読み解く講座を開催するなど、米子城の歴史を学ぶ機会を提供していた。 [資料等確認、立入調査]
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	施設の設置目的に沿って、市民の知ることの少なかった地元の歴史に関する情報発信や、市民がよく知っている地元の歴史の受け入れ体制づくりを模索しながら管理運営にあたっている。 [資料等確認、立入調査]

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。 [資料等確認]
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	妥当である。 [資料等確認]
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	妥当である。 [資料等確認]

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。</p> <p>特に、利用促進に関する業務では、前年度から引き続き、美術館と連携した企画展割引券の発行や大山が日本遺産に認定されたことで市民が興味を持ちやすいテーマで企画展を実施し当初の計画よりも会期を延長するなどの工夫が見られ、施設利用者数も前年度を上回っていることは高く評価できる。</p> <p>今後も更なる取り組みを行うことで、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。</p>	<p>合計点 (70) 点 / (100) 点 × 100 = (70)</p> <p>平均点 (3.5) 点</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成28年4 ～平成29年3月〕A	前年度〔平成27年4 ～平成28年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	304	307	△3、99.02 (%)	
施設利用者数	13,755	9,927	3,828、138.56 (%)	延べ人数に変更したため
施設稼働率	100%	100%	0、 (%)	
事業開催数	243 (企画展展示日数)	210 (企画展展示日数)	33、115.71 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成28年4 ～平成29年3月〕A	前年度〔平成27年4 ～平成28年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
指定管理料	20,396,000	21,635,000	△1,239,000、94.27 (%)	
事業収入	510,372	991,134	△480,762、51.49 (%)	前年度は写真集の販売収入があった
雑収入	38,330	8,360	29,970、458.49 (%)	コピー代収入が多かったため
合計	20,944,702	22,634,494	△1,689,792、92.53 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成28年4 ～平成29年3月〕A	前年度〔平成27年4 ～平成28年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	14,099,754	13,681,212	418,542、103.05 (%)	
施設管理費	5,469,818	5,568,596	△98,778、97.82 (%)	
旅費交通費	144	0	144、— (%)	
通信運搬費	201,108	199,357	1,751、100.87 (%)	
手数料	40,048	17,874	22,174、224.57 (%)	ごみ収集業者の変更
備品購入費	26,548	31,104	△4,556、85.35 (%)	
消耗品費	823,756	641,502	182,254、128.41 (%)	夏の高温対策で扇風機等を購入

修繕料	228,420	388,800	△160,380、58.75 (%)	修繕箇所が少なかった
印刷製本費	32,450	53,020	△20,570、61.20 (%)	印刷物が少なかった
光熱水費	869,172	954,475	△85,303、91.06 (%)	
燃料費	251,648	266,038	△14,390、94.59 (%)	
賃借料	860,006	868,814	△8,808、98.98 (%)	
租税公課	1,072,400	1,118,500	△46,100、95.87 (%)	
負担金	31,206	7,000	24,206、445.8 (%)	前年度までは事業費から支出
委託料	1,022,112	1,022,112	0、100.0 (%)	
雑費	10,800	0	10,800、— (%)	
事業費	1,977,585	3,002,100	△1,024,515、65.87 (%)	
臨時雇賃金	102,000	274,500	△172,500、37.15 (%)	資料整理にかかる人件費削減
旅費交通費	93,160	74,932	18,228、124.32 (%)	研修参加の増
通信運搬費	15,668	29,177	△13,509、53.69 (%)	庁内メールなどの発送増
消耗品費	398,936	601,863	△202,927、66.28 (%)	展示等の事業増
印刷製本費	218,266	637,739	△419,473、34.22 (%)	前年度に写真集を印刷
食糧費	14,187	17,344	△3,157、81.79 (%)	
保険料	24,150	35,190	△11,040、68.62 (%)	保険をかける回数の減
賃借料	310,765	273,728	37,037、113.53 (%)	
諸謝金	61,253	77,958	△16,705、78.57 (%)	講師謝金の減
委託費	739,200	942,439	△203,239、78.43 (%)	委託を要する展示の増
負担金	0	37,230	△37,230、— (%)	
合 計	21,547,157	22,251,908	△704,751、96.83 (%)	

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔平成28年4 ～平成29年3月〕A	前年度〔平成27年4 ～平成28年3月〕B	対比 A-B、A/B	備 考
① 事業収支	△602,455	382,586	△985,041、— (%)	
② 利用料金比率	0	0	、 (%)	
③ 人件費比率	65.43	61.48	3.95、106.42 (%)	
④ 外部委託費比率	4.74	4.59	0.15、103.26 (%)	
⑤ 利用者当たり管 理コスト	1,567	2,242	△675、69.89 (%)	
⑥ 利用者当たり自 治体負担コスト	1,483	2,179	△696、68.05 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	備考
①自己資本比率	63.1	54.9	44.1	57.7	51.0	
②流動比率	288.1	230.7	182.1	304.5	238.4	
③固定長期適合率	11.5	14.2	15.5	15.3	15.9	
④総資産経常利益率	-1.5	-6.4	-1.8	-6.5	7.6	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率}(\%) = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率}(\%) = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（\%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけを経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益剰余金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

企画展 石に刻まれた祈り～廻国塔を中心に～ (展示期間：H28/4/23(土)～6/26(日))
祝日本遺産認定！大山の歴史を語る資料たち (展示期間：H28/4/29(金)～6/26(日))

◆**回答者数** 167人 石に刻まれた祈り観覧者数：574人
祝日本遺産認定！観覧者数：888人

◆**年代** 10歳未満：0人 10代：0人 20代：5人 30代：9人 40代：8人 50代：13人
60代：37人 70代：74人 80代以上：26人

◆**お住まい** 米子市：102人 境港市：5人 西伯郡：10人 日野郡：4人
上記以外の鳥取県内：5人 県外：46人（京都・大分県・安来市・埼玉）

◆**情報の取得について** チラシ・ポスター：53人 新聞：30人 テレビ：29人 ラジオ：7人
インターネット：11人 市報：18人 その他：53人

◆**展示内容、展示方法について**

大変良かった：58人 良かった：93人 まあまあ良かった：14人 普通：5人
あまり良くなかった：0人 良くなかった：1人

◆**記述欄（一部）**

・色々な多くの資料が判りやすく、写真も豊富で見やすかったです。こういうものが残されていくのは、有りがたい事ですので、今後ともよろしくお願いします。

・写真中心の展示と云うのは少しさびしい気がする。何か他の資料がもっとあればと思う。経本では少し地味すぎる。

・廻国塔がまとめて見れて良かった。

・石像が多いなと思う程度だったものが、その意味を知ることができた。

・解説があったので良かった。読み下し文があればもっと良いと思いました。

◆**その他の意見・感想など（一部）**

・日本遺産！タイムリーな企画で良かった。

・歴史館そのものの由来を入口に書いてほしいです。

・色々な歴史展示を開いてください。

・建物内に独特の匂い。掃除は良くされているが、カビの匂いが気になった。

・2階の展示場が暑かった。空調をこまめにしてはどうか。

企画展 太平洋戦争と戦中・戦後の暮らし (展示期間：H28/7/23(土)～8/28(日))

◆**回答者数** 110人

◆**年代** 10歳未満：1人 10代：4人 20代：7人 30代：9人 40代：12人 50代：10人

60代：24人 70代：30人 80代以上：13人

◆お住まい 米子市：71人 境港市：3人 西伯郡：6人 日野郡：0人

上記以外の鳥取県内：8人（大山町・鳥取市・東伯郡・倉吉市） 県外：35人

◆情報の取得について チラシ・ポスター：29人 新聞：19人 テレビ：27人 ラジオ：8人
インターネット：11人 市報：9人 その他：31人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：39人 良かった：55人 まあまあ良かった：19人 普通：9人
あまり良くなかった：0人 良くなかった：0人

◆記述欄（一部）

- ・暑いためじっくり見られなかった。写真は貴重に感じられるものがあった。（毒ガス防護面の着用写真）
- ・小学生の息子には少し難しかったかもしれません。今後、戦争のことを知っている大人がいなくなる為、このような展示は大事に後世に伝えてほしい。
- ・小冊子にでもなっていると、子どもたちに伝えられるかと思いました。
- ・心に残る深い内容の展示でした。平和の尊さ大切さをしみじみ感じたひと時でした。有難うございました。
- ・具体的なイメージがわいてくるような内容の展示が多く、理解を深めることが出来ました。じっくりと見ることで来て良かったです。

◆その他の意見・感想など（一部）

- ・企画展の300円はたかいかも知れない。重要な資料なので多くの人に見てもらったほうが良い。部屋の温度が展示品に影響を与えないのか心配。
- ・冷房が無いのが残念。本気で見られなかった。
- ・米子城全体の模型の展示が無いのが残念。（ジオラマ形式）

企画展 西田税 ～二・二六事件から80年～（展示期間：H28/10/8(土)～12/25(日)）

◆回答者数 230人（観覧者数892人）

◆年代 10歳未満：1人 10代：3人 20代：9人 30代：10人 40代：25人 50代：32人
60代：50人 70代：67人 80代以上：33人

◆お住まい 米子市：88人 境港市：8人 西伯郡：7人 日野郡：4人

上記以外の鳥取県内：7人（大山町・鳥取市・東伯郡・倉吉市） 県外：113人

◆情報の取得について チラシ・ポスター：62人 新聞：20人 テレビ：2人 ラジオ：0人
インターネット：21人 市報：34人 その他：111人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：81人 良かった：107人 まあまあ良かった：21人 普通：12人
あまり良くなかった：3人 良くなかった：1人

◆記述欄（一部）

- ・昔の字が読めず、訳のようなものがあるとより理解が進んでいいかなと思いました。
- ・他にはない史料と数の多さに驚いた。珍品・名品が目についた。

・戦前の歴史からの教訓を正しく引き出せるような工夫がいると思う。今なぜ、二・二六事件の実行者の生涯を振り返るのか。主催者の意図を明らかにすべきだと思う。それなくして、クーデター、国粋主義賛美になりかねない。

・直筆の資料が特に良かったです。西田税という人物は、米子在住の方以外にはあまり知られていないと思うので、まずどのような事をした人物なのかを知らせるのが良いと思いました。

・失われてしまいがちな物をきちんと手入れして保存しておくことは、とても重要だと思います。

◆その他の意見・感想など（一部）

・地元の観光施設や場所の地図等があったがよい。

・米子城の展示品が増えると良いと思いました。（立派なお城なので）

・暗い。施設改善が必要。

・資料を年代順もしくはテーマに添って区分し、説明を加えてほしい。常設展示物の解説書を出版してほしい。

・だんだんこんな建物が無くなって行く事が淋しい気がします。出来るだけ保存して活用を考えたらと願っています。

企画展 絵図でたどる米子城の歴史 (展示期間：H29/1/29(日)～3/12(日))

◆回答者数	372人	絵図でたどる米子城の歴史	1,887人			
		大山の歴史を語る資料たち	1,541人			
◆年代	10歳未満：17人	10代：8人	20代：10人	30代：32人	40代：48人	50代：35人
	60代：85人	70代：111人	80代以上：29人			
◆お住まい	米子市：233人	境港市：10人	西伯郡：29人	日野郡：1人		
	上記以外の鳥取県内：25人（大山町・鳥取市・東伯郡・倉吉市・琴浦町・湯梨浜町・鳥取市）					
	県外：77人					
◆情報の取得について	チラシ・ポスター：84人	新聞：63人	テレビ：56人	ラジオ：8人		
	インターネット：31人	市報：85人	その他：96人			
◆展示内容、展示方法について	大変良かった：159人	良かった：170人	まあまあ良かった：22人	普通：12人		
	あまり良くなかった：7人	良くなかった：0人				

◆記述欄（一部）

・絵図資料が豊富。城の様子が分かりやすかったです。

・毎年来ています。説明もていねいでわかりやすく、ゆったり展示してあるので、米子城について少しずつ理解を深めることができます。

・説明がいっぱい書いてあってよかった。米子城鯨瓦が真近で見れてよかった

・市民向けに素晴らしい企画である

・少し暗かったので、図面の小さな字が、読みとることが出来なかった。

◆その他の意見・感想など（一部）

・今後、子供の自由研究の題材に考えようと思います。

・どんどん特別展をやしましょう。お金をとられても充実した展示内容なら文句なしです。

・ふるさとに伝わる民俗行事の部屋がよかった。建物内部が、美術館のようにきれいになるといいですね。

・米子市史を若い世代に「教科書化して」学んでほしい。

講演会「西伯耆の廻国塔」 平成28年5月28日(土) 13:30~15:30 於：米子市文化ホール研修室

◆参加者 45人

◆アンケート回収 28枚 男:18 女:9 無記名:1

◆年代 40代:1人 50代:2人 60代:9人 70代:13人 80代以上:3人

◆お住まい 米子市:18 境港市:5 西伯郡:2 日野郡:1

上記以外の鳥取県内:鳥取市1 広島:1

◆情報の取得について チラシ・ポスター:19人 新聞:1人 インターネット:2人 市報:3人

その他:県民カレッジ、知人、歴史館、講師

◆講演会の内容について 大変良かった:19人 良かった:9人

◆感想など(一部)

・廻国行者とは何か、全く知らなかったのですが、大変参考になり面白かったです。

・資料が大変わかりやすい。講師の人柄が良く出た良い講演会であった。

・難しい内容を分かりやすく丁寧に話していただき納得できました。これだけの歴史が今まで気づかれずに眠っていたことは驚きです。良い企画を有難うございました。

講演会「鳥取藩台場跡にみる幕末の攘夷思想と西洋化」 講師：中原 斉

平成28年6月4日(土) 13:30~15:30 於：米子市文化ホール研修室

◆参加者 30人

◆アンケート回収 15枚 男:11 女:4

◆年代 40代:2人 50代:1人 60代:7人 70代:5人 80代以上:3人

◆お住まい 米子市:14 境港市:1 西伯郡:2 日野郡:1

上記以外の鳥取県内:鳥取市1 広島:1

◆情報の取得について チラシ・ポスター:6人 新聞:1人 インターネット:2人 市報:4人

その他:県民カレッジ2人

◆講演会の内容について 大変良かった:11人 良かった:4人

◆感想など(一部)

・米子地方と鳥取の比較を聞けばもっともっと面白くなりそうだ。

・1時間半があつという間に過ぎました。結論についてももう少し詳しく見解を聞けたらと思いました。

・カラースライド説明で分かりやすかった。